



インフルエンザ油断は禁物 しっかり手洗い、きちんとマスク

感染症発生動向速報

(平成30年第7週分・2月12日～2月18日)

平成30年2月21日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

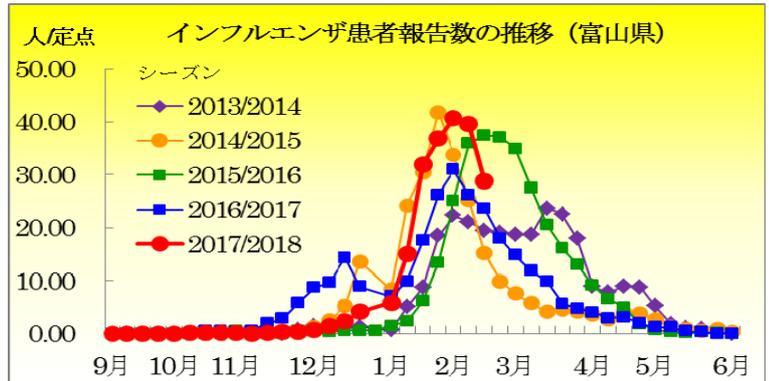
《インフォメーション》

●インフルエンザ

今週、インフルエンザの報告数が定点医療機関あたり 28.75 人となり、先週(39.60)から減少しました。県内のインフルエンザの流行は縮小傾向が見られますが、今後しばらくは報告数の多い状態が続くと思われまます(図)。

9月から現在までの全国のインフルエンザウイルス検出状況は、AH1pdm09が1,455件(41.1%)、AH3(香港型)が657件(18.6%)、B(山形系統)が1,246件(35.2%)、B(ビクトリア系統)が59件(1.7%)となっています。県内では、AH1pdm09が15件、AH3(香港型)が19件、B(山形系統)が29件、B(ビクトリア系統)が2件検出されています。例年2～3月に流行するB型がインフルエンザの流行開始時から増加しており、県内でもA型、B型の両方が同時に流行しています。

なお、小児・未成年者の異常行動による転落などのリスクを軽減するため、インフルエンザにかかった時は、抗インフルエンザウイルス薬の種類や服用の有無によらず、異常行動にご注意ください。



- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・うがい・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 人混みや繁華街への外出をなるべく控え、外出する際はマスクを着用
- 集団生活施設では、可能な場合、流行期の全員マスクの着用が効果的
- 意識がもうろうとするなど重症感がある場合は、直ぐ医療機関を受診

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 5件 (①第6週診断分：20歳代、男性 ②30歳代、男性 ③30歳代、女性 ④80歳代、女性、⑤20歳代、男性)
- 四類感染症 レジオネラ症 3件 (①②70歳代、男性、肺炎型、 ③80歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3件 (①70歳代、女性、C群、 ②30歳代、男性、A群 ③80歳代、男性、G群)
- 侵襲性肺炎球菌感染症 2件 (①第6週診断分：60歳代、女性 ②10歳未満、男性)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点医療機関あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1位	インフルエンザ	28.75	39.60	↓
2位	感染性胃腸炎	3.52	4.72	↓
3位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.17	1.31	↓
4位	咽頭結膜熱	0.69	1.17	↓
5位	RSウイルス感染症	0.48	0.52	↓
6位	マイコプラズマ肺炎	0.40	0.20	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第7週 平成30年2月12日～平成30年2月18日）

分類	疾患	今週報告分（第7週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核					4	4	1	2	5	4	12	24
四類感染症	A型肝炎											1	1
	レジオネラ症					3	3			2		7	9
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症											3	3
	急性脳炎							1					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2			1		3	2			2	3	7
	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1			1	2	5	8
	梅毒											1	1
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳											1	1
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	246 35.14	165 33.00	323 24.85	189 27.00	457 28.56	1,380 28.75	1,450	1,068	2,100	1,299	3,628	9,545
	RSウイルス感染症	1 0.25			1 0.25	12 1.20	14 0.48	11	3	17	10	61	102
	咽頭結膜熱	2 0.50	4 1.33	12 1.50		2 0.20	20 0.69	38	19	69	5	106	237
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.75	3 1.00	11 1.38	2 0.50	15 1.50	34 1.17	28	22	95	29	147	321
	感染性胃腸炎	24 6.00	18 6.00	23 2.88	7 1.75	30 3.00	102 3.52	184	136	251	50	492	1,113
	水痘			4 0.50	2 0.50		6 0.21	4		24	18	29	75
	手足口病					6 0.60	6 0.21	1	6	13	4	52	76
	伝染性紅斑				3 0.75		3 0.10			1	4	1	6
	突発性発しん	1 0.25	1 0.33	3 0.38	1 0.25	3 0.30	9 0.31	8	11	24	7	16	66
	ヘルパンギーナ							1		1			2
	流行性耳下腺炎					1 0.10	1 0.03	1	3	4		4	12
	流行性角結膜炎					1 0.50	1 0.14		9	2	1	1	13
	細菌性髄膜炎											1	1
	マイコプラズマ肺炎			1 1.00		1 1.00	2 0.40		1	3	3	6	13
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）									1			1
	インフルエンザによる入院患者（*）	2	15	4	21	10	52	28	19	22	93	62	224

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

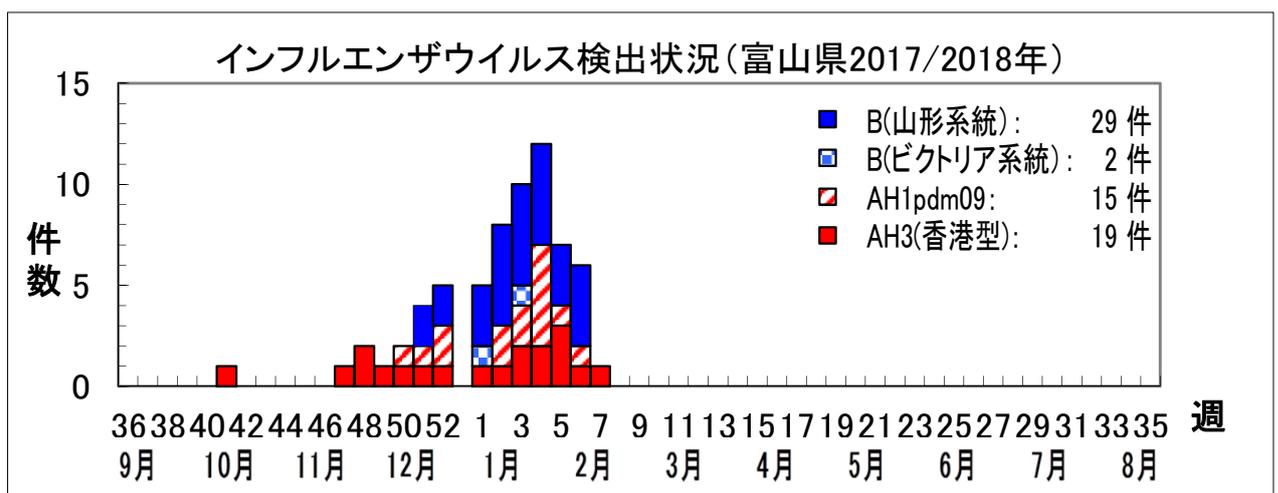
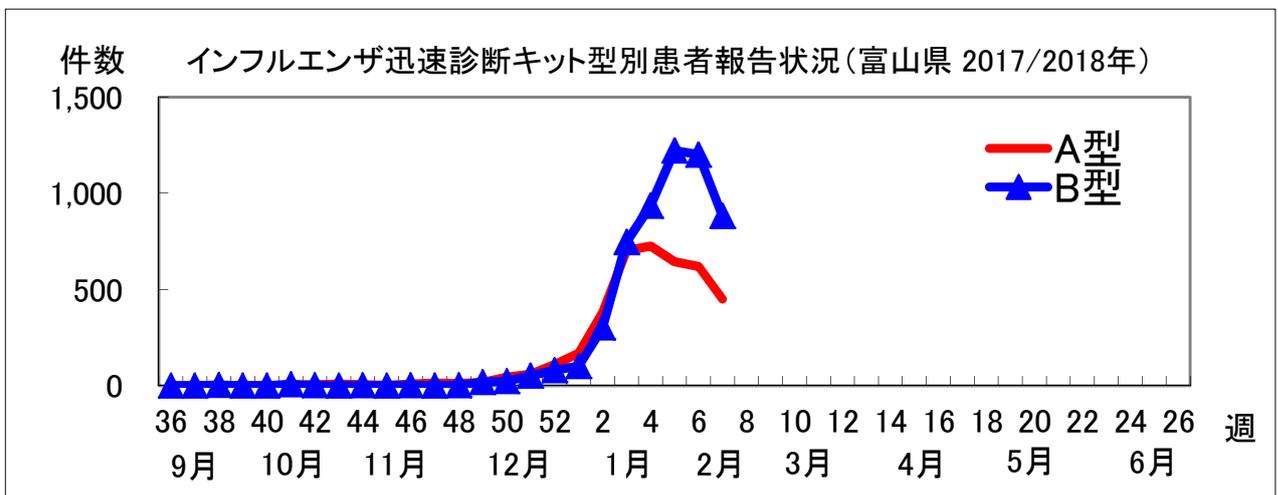
現在、下の表によると、A型が32.6%、B型が63.9%となっています。

第7週(2/12~2/18)：富山県 28.75人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	69	166	11	246
中部	5 / 5	68	86	11	165
高岡	13 / 13	79	239	5	323
砺波	7 / 7	61	125	3	189
富山市	16 / 16	173	266	18	457
富山県	48 / 48 ^{※1}	450	882	48	1,380
富山県累計(2017年36週~)		3,977	5,577	486	10,040

※1 報告定点数の例(48/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が48か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





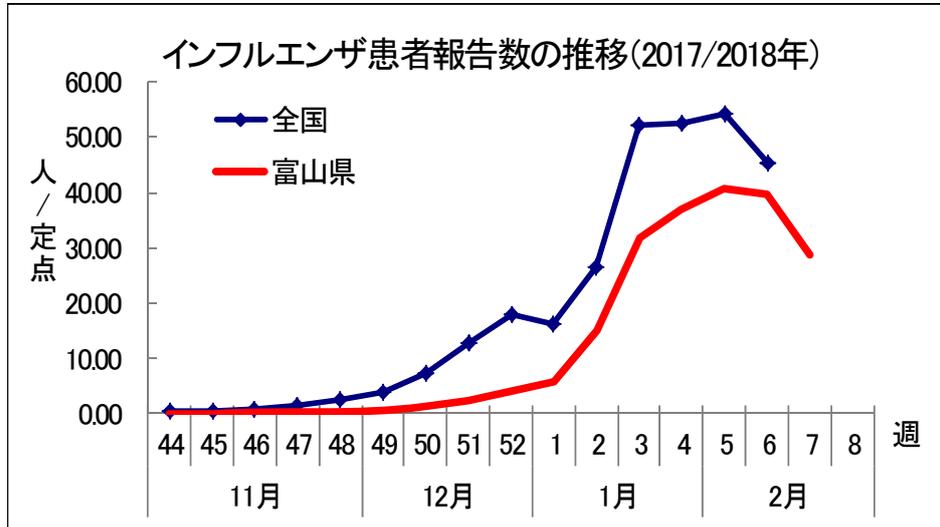
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第7週 (2/12~2/18) : 富山県 28.75人/定点

新川 HC (35.14)、中部 HC (33.00)、高岡 HC (24.85)、砺波 HC (27.00)、富山市 HC (28.56)

県内は第3週に警報の目安である定点医療機関あたり 30 人を超えました。

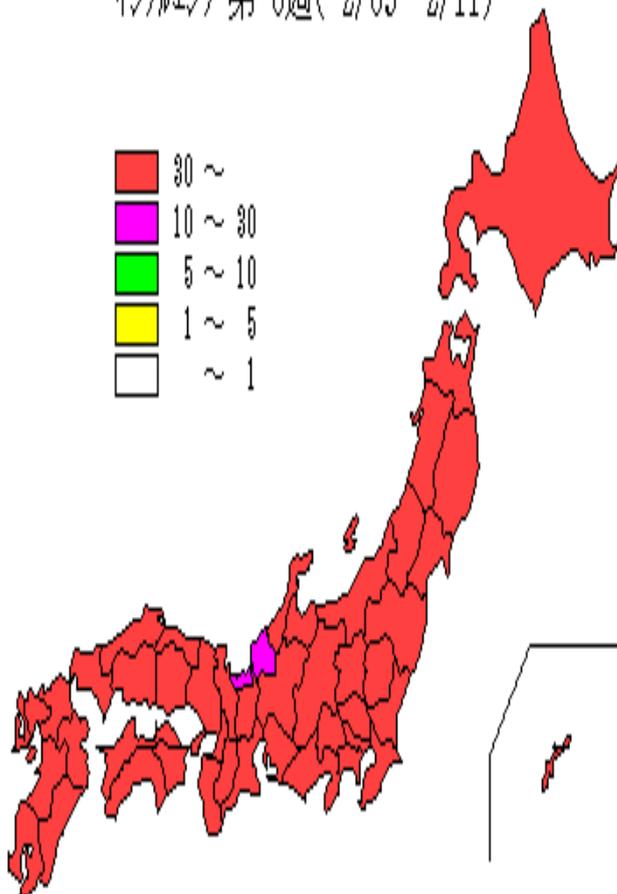
2 週続けて前週より減少していますが、しばらくは報告数が多い状態が続くと予想されます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第6週 (2/5~2/11)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 45.38人となり、前週の 54.33人より減少しました。8 道県で前週より増加しています。39 都府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第6週(2/05-2/11)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	55.39	滋賀県	45.81
青森県	45.32	京都府	42.67
岩手県	52.09	大阪府	36.78
宮城県	48.58	兵庫県	43.67
秋田県	42.26	奈良県	34.13
山形県	40.00	和歌山県	44.16
福島県	49.22	鳥取県	45.69
茨城県	40.28	島根県	33.16
栃木県	35.49	岡山県	42.31
群馬県	39.80	広島県	35.64
埼玉県	51.37	山口県	62.82
千葉県	50.30	徳島県	41.05
東京都	39.53	香川県	32.68
神奈川県	47.85	愛媛県	45.03
新潟県	45.39	高知県	67.67
富山県	39.60	福岡県	53.22
石川県	40.60	佐賀県	48.26
福井県	29.97	長崎県	46.59
山梨県	46.17	熊本県	49.64
長野県	46.59	大分県	60.28
岐阜県	32.15	宮崎県	57.17
静岡県	37.86	鹿児島県	56.66
愛知県	47.88	沖縄県	50.81
三重県	44.36	全国	45.38

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年1月分）

		1月報告分					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	1		7	9		1	1		7	9	
			1.00	0.33		1.75	0.90							
	性器ヘルペスウイルス感染症					2	2					2	2	
						0.50	0.20							
尖圭コンジローマ					1	2	3				1	2	3	
					1.00	0.50	0.30							
淋菌感染症						3	3					3	3	
						0.75	0.30							
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	2	2	6	3	15	2	2	2	6	3	15
			2.00	2.00	2.00	6.00	3.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				3	1		4			3	1		4
				3.00	1.00		0.80							

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。